

第67回病診連携委員会要録

日 時 平成27年8月31日(月) 午後7時45分
場 所 浪速区医師会 会議室
出席者 浪速区医師会 : 5名
南 医 師 会 : 2名
愛 染 橋 病 院 : 2名
育 和 会 記 念 病 院 : 2名
NTT 西日本大阪病院 : 1名
大 手 前 病 院 : 1名
大 野 記 念 病 院 : 2名
四 天 王 寺 病 院 : 2名
千 本 病 院 : 2名
多 根 総 合 病 院 : 1名
富 永 病 院 : 2名
なにわ生野病院 : 2名
日 生 病 院 : 1名
藤 井 寺 市 医 師 会 : 1名
地域包括支援センター : 1名
居宅介護支援事業者連絡会 : 1名
浪速区医師会事務局 : 1名

今回は藤井寺市医師会、大野記念病院よりお越しいただきました。

議 題

1. 第66回病診連携委員会報告について
前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。
2. ブルーカード事例検討等報告について(育和会記念病院)(資料1)
現在までの4件の登録があったが、そのうち3件が死亡、1件は協力病院への変更で現在は1件。死亡の内訳でも看取りの確認や地域連携室を介しての受診であり、ブルーカードを使用した事例はなかったとのこと。
3. テーマに沿った意見交換
他地区での医療、介護等の社会資源の把握が必要という意見や、診療科別では研究会等を通じてつながりがあるとの意見が聞かれた。また顔が見える関係づくりが必要という意見が出された。特に医師間での交流では懇親会を開く事が手っ取り早いとの意見が出され、今後予定される事となった(その他別紙参照)。
4. 藤井寺市医師会のブルーカードシステムの状況について(別添)
藤井寺医師会でのブルーカードが開始されて約1年半が経過した。藤井寺市では3か月に1回、ブルーカード連携協議会を開いており、登録病院(医真会八尾総合病院、城山病院、松原徳州会病院、藤本病院、明治橋病院など)消防組合、医師会員が出席しているとのこと。平成26年の2月から開始され、平成27年5月31日時点で、登録件数230件、8月末で更に40件追加されているとのこと。中止事例もあるため現時点で250件ほどの登録件数である。藤井寺医師会では医療機関と老人福祉施設とで登録を分けており、約2:1の比率で医療機関が多く登録されている。医療機関で37機関中15機関の登録参加と半数に満たず、老人福祉施設は5施設中3施設がブルーカードの参加している。登録されていない医療機関の意見としてはシステムを把握しきれていないという意見、手間がかかるとの理由であった。そこで今後、簡易型のマニュアル作成をすることで医師側の負担を少なくしていくことも考えている。また取り組みとしてブルーカード通信を登録されていない医療機関にも配ることによって認知度

を高めている。藤井寺市には総合病院がないため近隣の総合病院に依頼しているが距離的な事情もありその内訳が偏っている。発動件数としてこれまで61件されており、一般患者29件、在宅患者4件、施設患者28件、救急隊出動回数31件等となっている。

5. 本会の在宅医療連携の現状について（資料2）
在宅患者のブルーカードの分析利用について（別紙参照）。

6. その他

（1）ブルーカードの動向について

登録件数 合計602件、浪速区内の医師より553件、他地区の医師から49件

使用状況 のべ件数 全例で484件、浪速区456件、他地区で28件

8月1日からのカード動向30件 新規14件、更新6件、入院3件、帰宅2件、死亡2件

次回会議予定 平成27年9月28日（月）午後7時45分～